

世界会議・展示会の概要

■ 1. 開催概要

- 1) 会議の名称
- 2) 開催期間及びスケジュール
- 3) 開催場所
- 4) テーマ
- 5) 参加者数
- 6) 発表数
- 7) 展示会出展者数
- 8) 主催団体等

■ 2. 参加状況

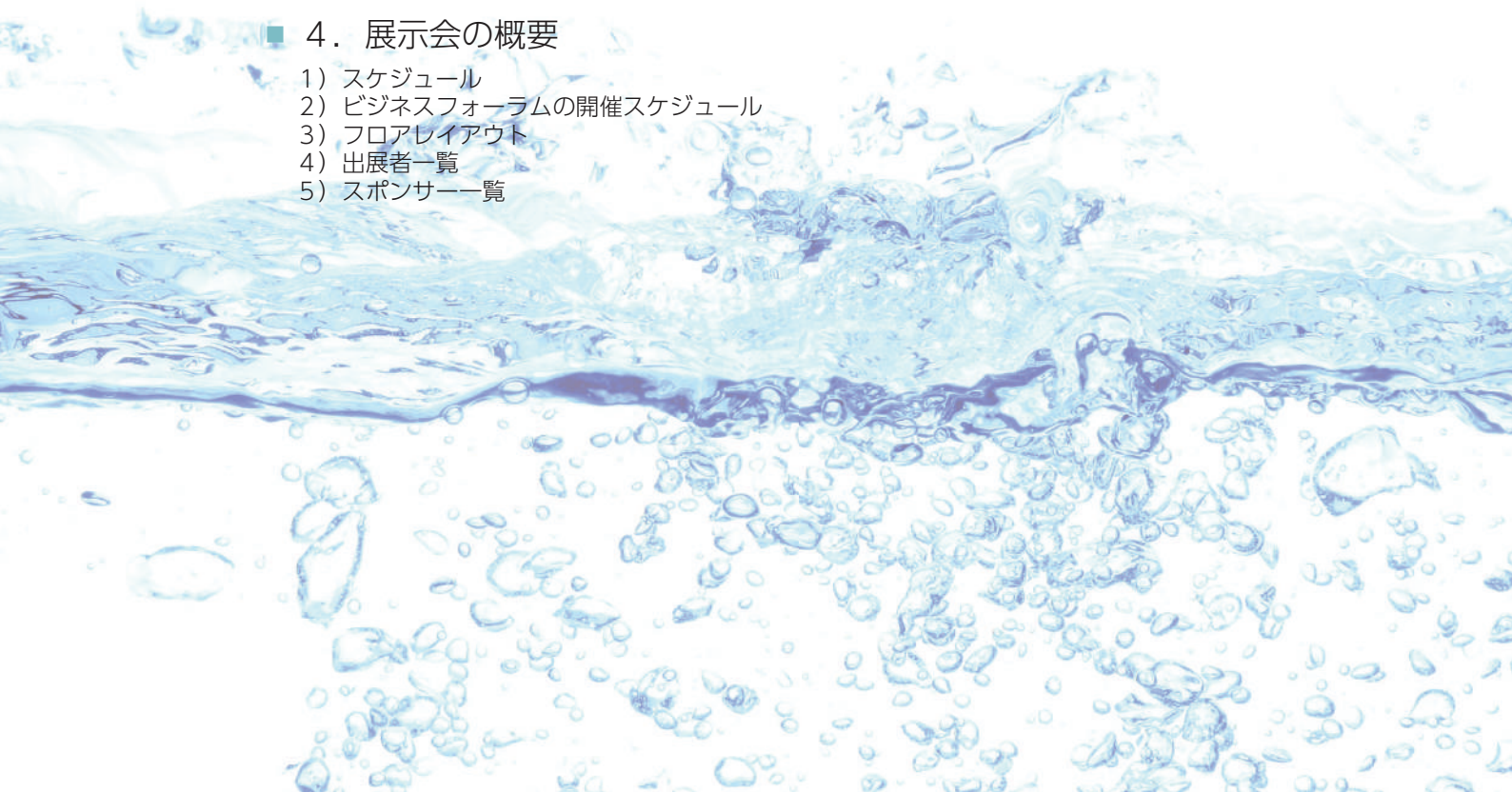
- 1) IWA世界会議・展示会への参加状況
- 2) 世界会議への参加登録者
- 3) 料金一覧

■ 3. 世界会議の概要

- 1) 会議スケジュール
- 2) フロアレイアウト
- 3) 論文発表等のテーマ
- 4) 基調講演
- 5) フォーラム
- 6) テクニカルセッション
- 7) ポスターセッション
- 8) ワークショップ
- 9) トレーニング、ソフトスキル、マスターレクチャー

■ 4. 展示会の概要

- 1) スケジュール
- 2) ビジネスフォーラムの開催スケジュール
- 3) フロアレイアウト
- 4) 出展者一覧
- 5) スポンサー一覧



2018年第11回国際水協会 (IWA) 世界会議・展示会の概要

1. 開催概要

1) 会議の名称

和文 2018年第11回国際水協会 (IWA) 世界会議・展示会

英文 IWA World Water Congress & Exhibition

2) 開催期間及びスケジュール

(1) 開催期間

平成30年 (2018年) 9月16日 (日曜日) から9月21日 (金曜日) まで

(2) 開催スケジュール

		9/16(日)	9/17(月・祝)	9/18(火)	9/19(水)	9/20(木)	9/21(金)
会議	AM		基調講演	基調講演	基調講演	基調講演	
	PM	フォーラム	フォーラム ワークショップ 分科会	フォーラム ワークショップ 分科会	フォーラム ワークショップ 分科会	フォーラム ワークショップ 分科会	
展示会等	終日		展 示 会				テクニカルツアー
式典等	夕方以降	開会式 ウェルカムレセプション		カルチャーイブニング		閉会式 ガラ・イブニング	
関連イベント	終日		開催国委員会 サイドイベント				

3) 開催場所

東京ビッグサイト 会議棟及び西展示棟

東京都江東区有明3丁目11-1

4) テーマ

Shaping our water future

Science, Practice and Policy for Sustainability and Resilience

水未来の形成

持続可能性と強靱性のための科学、実践、政策

5) 参加者数

98カ国・地域9,815名 (有料会議登録者2,846名)

6) 発表数

口頭発表：352編（うち日本より113編）

ポスター発表：633編（うち日本より350編）

7) 展示会出展者数

32ヵ国252企業・団体

8) 主催団体等

(1) 主 催：国際水協会（IWA）

(2) 開催国委員会

2018年第11回国際水協会（IWA）世界会議・展示会開催国委員会

会 長：小池 百合子 東京都知事

委 員 長：古米 弘明 IWA日本国内委員会委員長（東京大学大学院教授）

副委員長：東京都水道局長

同 上：東京都下水道局長

同 上：日本水環境学会会長（京都工芸繊維大学教授）

同 上：日本下水道協会理事長

同 上：日本水道協会理事長

委 員：厚生労働省医薬・生活衛生局水道課長

同 上：経済産業省製造産業局国際プラント・インフラシステム・水ビジネス推進室長

同 上：国土交通省水管理・国土保全局水資源部水資源計画課長

同 上：国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官

同 上：環境省水・大気環境局水環境課長

同 上：水資源機構理事長

同 上：国際協力機構地球環境部長

同 上：日本下水道事業団理事長

同 上：日本下水道新技術機構理事長

同 上：日本下水道施設業協会専務理事

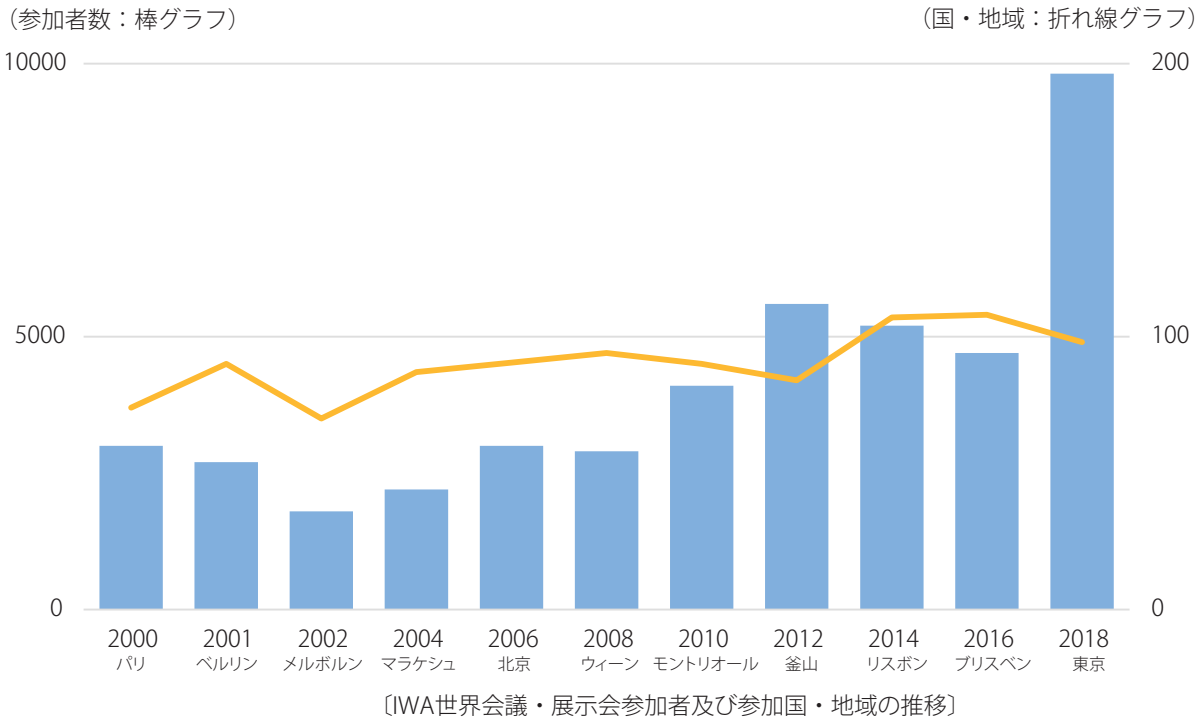
同 上：水道技術研究センター理事長

同 上：日本水道工業団体連合会専務理事

2. 参加状況

1) IWA世界会議・展示会への参加状況

2018年東京会議では、口頭及びポスターによる論文発表のほか、フォーラム、ワークショップ等が行われ、世界の98の国・地域から9,815名の参加者を得て、これまでのIWA世界会議・展示会の中でも最多の参加者数となった。

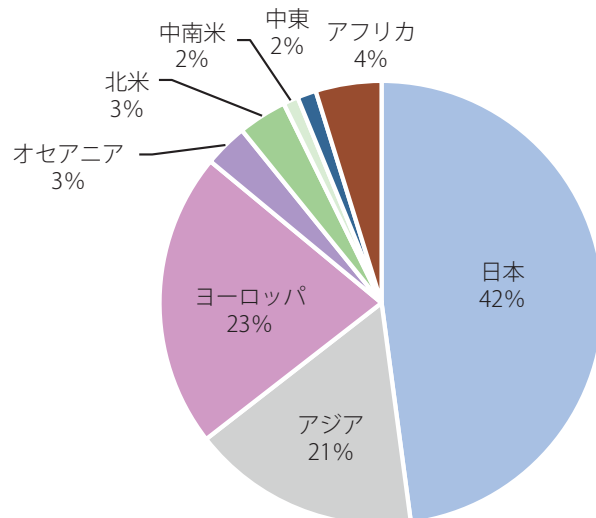


2) 世界会議への参加登録者

参加者全体のうち、世界会議への参加登録者は2,846名であった。

参加登録者の4割強が日本からの参加であり、次いで、ヨーロッパ地域、日本を除いたアジア地域から多くの参加を得た。

参加者は過去の世界会議同様、開催国及び周辺地域であるアジアからの参加者が多く、なかでも中国、韓国、台湾からの参加者が多数であった。



[参加登録者の地域別内訳]

3) 料金一覧

(1) 会議登録

		スーパーアーリーバード	アーリーバード	レギュラー	プレゼンター
		2018/4/30まで	2018/6/30まで	2018/9/9まで	2018/7/1まで
IWA 会員	日本	¥99,999	¥129,350	¥142,350	¥116,350
	高所得国	€795	€995	€1,095	€895
	低所得国	€495	€595	€695	€545
IWA 非会員	日本	¥111,999	¥155,350	¥168,350	¥142,350
	高所得国	€995	€1,195	€1,295	€1,095
	低所得国	€595	€695	€795	€645
学生	日本	¥51,350	¥64,350	¥70,850	¥57,850
	高所得国	€395	€495	€545	€445
	低所得国	€345	€395	€445	€370

		オンサイト	1日券	2日券
		2018/9/16から	2018/9/16から	2018/9/16から
IWA 会員	日本	¥161,850	¥35,000	¥70,000
	高所得国	€1,245	¥35,000	¥70,000
	低所得国	€795	¥35,000	¥70,000
IWA 非会員	日本	¥187,850	¥35,000	¥70,000
	高所得国	€1,445	¥35,000	¥70,000
	低所得国	€895	¥35,000	¥70,000
学生	日本	¥83,850	¥35,000	¥70,000
	高所得国	€645	¥35,000	¥70,000
	低所得国	€545	¥35,000	¥70,000

(2) ソーシャルイベント及びテクニカルツアーへの参加料

区 分		料 金	区 分		料 金
カルチャーイブニング		€75	テクニカルツアー	コース①	€70
ガライブニング		€50		コース②	€40
PIAアワード	IWA会員	€75		コース③	€40
	IWA非会員	€100		コース④	€40
トレーニング	IWA会員	€25		コース⑤	€70
	IWA非会員	€50			

(3) 展示会出展料 (1m²あたり)

	アーリーバード	スタンダード
	2017/10/31まで	2017/11/1から
IWA会員	€395	€430
IWA非会員	€415	€460
パッケージブース費用*	€90	€90

*パッケージブースを利用する場合に出展料に追加される費用

3. 世界会議の概要

1) 会議スケジュール

9月16日（日曜日）

質の高い日本の上下水道 ―革新的技術と産官学の実践―

13:00-14:30 レセプションホールA

開会式

16:00-18:00 国際会議場（中継会場：レセプションホール）

	挨拶・講演	挨拶者及び講演者
第1部	開会挨拶	ダイアン・ダラス IWA 会長
	挨拶	小池 百合子 東京都知事
	おことば	皇太子殿下
	挨拶	石井 啓一 国土交通大臣
	挨拶	中川 雅治 環境大臣
	挨拶	高木 美智代 厚生労働副大臣
	挨拶	大串 正樹 経済産業大臣政務官
	挨拶	丹保 憲仁 日本水フォーラム副会長
アトラクション：和太鼓演奏		
第2部	基調講演	ルディ・デワール氏 未来学者
	挨拶	キラン・パテル氏
	挨拶	古米 弘明 世界会議議長
	閉会挨拶	ヤコブ・エレマン・イェンセン デンマーク環境食糧大臣
ウェルカムレセプション スポンサー挨拶		中村 靖 メタウォーター株式会社 代表取締役社長

乾杯・リボンカッティング・ウェルカムレセプション

18:00-20:00 アトリウム及び西1ホール

	挨拶	挨拶者
乾杯	挨拶	中嶋 正宏 東京都水道局長
	挨拶	小山 哲司 東京都下水道局長
	リボンカッティング	
ウェルカムレセプション		

9月17日 (月曜日)

	Keynote1.1 9:00-9:45	Session1 10:30-12:00	Session2 13:30-15:00	Session3 15:45-17:15	Keynote1.2 17:30-18:15
Room1 レセプション ホールA		TS:顧客と料金	TS:水効率	TS:都市排水	
Room2 レセプション ホールB		TS:新興汚染物質-水処理	TS:コミュニティベースの計画	TS:レジリエンスのための数値解析	
Room3 101		WS:ポストSDGs:未来ビジョンの必要性	WS:都市水循環での新興物質の取扱い	WS:下水処理場における微量汚染物質の除去	
Room4 102		TS:廃水管理におけるエネルギー効率と回収率	TS:硫黄還元	WS:データ管理の原則-使いやすく信頼のおけるデータ活用-	
Room5 601		TS:処理工程における計装および制御、自動化	WS:オンラインデータ確認の原理-入門	WS:水科学技術者が知るべき高度処理モデリング:デザインの加速と成果のスケールアップ	
Room6 604		TS:農産業と食品産業における水管理	TS:産業施設内再利用とゼロ排水	TS:非飲用の水再生利用	
Room7 605		WS:次世代型資源回収と廃水処理プラント、プロセス合成の設計と管理	WS:次世代の循環経済のための水道システムとサービス	WS:現代の水セクターにおけるイノベーション協力から市民参加まで	
Room8 606		WS:飲用水浄水処理技術の対数減少値による評価	TS:水インフラ アセットマネジメントと監理解決策	WS:水効率のラベリングにおける国際的アプローチ	
Room9 607	基調講演 1.1 国際会議場	WS:低影響開発戦略とグリーンインフラによる気候変動への適応	TS:藻、臭気及び味、毒素の管理	TS:リスクアセスメントと毒物学	基調講演 1.2 国際会議場
Room10 608		TS:水道事業者が目指す省エネ・低炭素型の都市水道サービス	TS:集中管理システムにおける分散化解決策と民間部門の戦略統合	TS:コミュニティ/都市支援の利益と成果に関する経済的評価と財政的インセンティブ	
Room11 609		WS:持続可能な水供給へ向けた適切な料金設定と顧客満足度の向上	WS:水源から蛇口までグリーンとグレイインフラの統合を図り自然と調和した工学的アプローチ		
Room12 610		WS:間欠給水-パラダイムシフトが必須	TS:ブルーグリーン(自然由来)の基盤施設	WS:水セクターでソーシャルメディアを活用した成功事例	
Room13 国際会議場		FR:東日本大震災から学んだ教訓	FR:レジリエントな都市へ向けて	FR:レジリエントな都市に向けて-レジリエンス強化の機会としての上下水及び排水-	
Room14 701/702		TS:水道事業者のベンチマーキング	TS:プラントとプロセス性能-薬品使用と水質の妥協点-	TS:化学物質が含まれる飲用水の処理-最適化-	
Room15 703		TS:事業者管理へのICTの活用	TS:無収水管理	TS:漏水探知と解決策	
Room16 801		SS:複雑な水問題の解決-ツールキットI	SS:複雑な水問題の解決-ツールキットII	SS:出版スタイルの著者用スキル向上	
Room17 802		TR:水エネルギー nexus における規制の卓越性の実行			

TS = テクニカルセッション WS = ワークショップ FR = フォーラム SS = ソフトスキル TR = トレーニングセッション ML = マスターレクチャー

セッションの トラック分類	トラック1 水道事業経営	トラック4 都市の水システム
	トラック2 下水	トラック5 コミュニケーション、総合的計画、実現可能な環境
	トラック3 飲料水と飲料水再利用	トラック6 大規模な水管理

IWA-PIAアワード 2018

19:00-21:00 ヒルトン東京お台場

9月18日 (火曜日)

	Keynote2.1 9:00-9:45	Session1 10:30-12:00	Session2 13:30-15:00	Session3 15:45-17:15	Keynote2.2 17:30-18:15	
Room1 レセプション ホールA		TS:モニタリングとシステム管理	WS:国際水病原体プロジェクトおよび抗微生物薬耐性と水環境に関するアクションプランについてのWHOワークショップI、II			
Room2 レセプション ホールB		TS:実用可能技術	TS:汚染拡散	FR:第5回国際水レギュレーターズフォーラム		
Room3 101		FR:第5回国際水レギュレーターズフォーラム		WS:地下水貯留:世界の水再利用の触媒		
Room4 102		TS:新興汚染物質とマイクロプラスチック	WS:下水中のマイクロプラスチック-なぜ注意するのか-	WS:淡水と土壌のエコシステムに		
Room5 601		TS:下水汚泥の管理と再利用	WS:工業用水と水効率	WS:食品加工産業における水の再利用		
Room6 604		TS:下水汚濁と処理	TS:センサーとスマートソリューション	TS:意志決定支援のモデリング		
Room7 605		WS:ウォーターワイズシティーズI-分野を越える多様な利益をもたらす多目的水サービス-	WS:ウォーターワイズシティーズII-ウォーターワイズシティーズの実施に向けての訓練-	WS:ウォーターワイズシティーズIII-住みよいスマートシティの水-		
Room8 606		WS:人的資源管理I-公衆と環境の保護に必要なとなる上下水の労働力形成-	WS:人的資源管理II-多様性を通じた文化の変遷へのビジョン-	WS:糞便汚泥管理と下水施設未整備状況下における衛生管理の向上		
Room9 607	基調講演 2.1 国際会議場	TS:配水システムにおける微生物学と生物膜	TS:革新的な技術	TS:活性炭	基調講演 2.2 国際会議場	
Room10 608		TS:資源回収I-無機物-	TS:資源回収II-有機化合物-	TS:物理化学的処理-電気化学-		
Room11 609		TS:活性汚泥のプロセス	TS:富栄養物除去I-嫌気性アンモニア酸化-	TS:生物膜と粒状汚泥プロセス		
Room12 610		WS:気候変動に対応する水の安全保障計画	WS:未来のための地下水	TS:地下水管理		
Room13 国際会議場		ML:リン回収と下水からの再利用	WS:JICA SDGs ワークショップ サンテーションと汚水処理の管理に関するSDGs(6.2、6.3)の達成に向けて(I、II、III)			
Room14 701/702		TS:配管損傷と腐食	TS:腐食防止と管の長寿命化	WS:インフラストラクチャー・アセットマネジメントの実施:優良事例と課題		
Room15 703		TS:ポンプとエネルギー	TS:管網と省エネルギー	TS:化学的最適化		
Room16 801		SS:虚偽報道の時代における水コミュニケーション	TR:気候スマート事業体-適応			
Room17 802		TR:都市水道サービスの性能の評価と改善: IWA アプローチ				

TS = テクニカルセッション WS = ワークショップ FR = フォーラム SS = ソフトスキル TR = トレーニングセッション ML = マスターレクチャー

セッションの トラック分類	トラック1 水道事業経営	トラック4 都市の水システム
	トラック2 下水	トラック5 コミュニケーション、総合的計画、実現可能な環境
	トラック3 飲料水と飲料水再利用	トラック6 大規模な水管理

カルチャーイブニング —Tokyo Garden Night—

19:00-21:00 東京都立清澄庭園

9月19日 (水曜日)

	Keynote3.1 9:00-9:45	Session1 10:30-12:00	Session2 13:30-15:00	Session3 15:45-17:15	Keynote3.2 17:30-18:15
Room1 レセプション ホールA		TS:下水処理-病原体と抗生物質耐性-	TS:水安全計画とリスクアセスメント	TS:災害対応	
Room2 レセプション ホールB		TS:水質とその回復	TS:汚水流出の環境インパクト	TS:水源と水質	
Room3 101		TS:イノベーターズワークショップ	FR:科学から実践へ		
Room4 102		WS:水再利用機会と非飲料水および	WS:東アジアのメガシティにおける	WS:新興経済下の水再利用:日本の排水再利用から学んだこと	
Room5 601		WS:気候変動が源水の水質と都市水道システムに与える影響	TS:エネルギー生産における水管理	TS:微生物生態	
Room6 604		WS:都市における水保障:グローバルネットワークとローカルな解決	TS:水アクセスに関する社会問題	WS:新たな懸念である淡水中の汚染物質への政策対応	
Room7 605		WS:危機的状況下における伝達	WS:気候回復における都市間連携の道筋構築	WS:あらゆる角度から見た強靱性	
Room8 606		TS:変遷期にある都市	WS:高性能そして低炭素への変遷期にある事業者		
Room9 607	基調講演 3.1 国際会議場	TS:飲料水低コスト策	TS:飲用水処理のための膜処理 I	TS:飲用水処理のための膜処理 II	基調講演 3.2 国際会議場
Room10 608		TS:処理工程のモデリング	TS:資源回収Ⅲ-栄養物-	TS:資源回収Ⅳ-栄養物と硫化-	
Room11 609		TS:嫌気性プロセス I	TS:嫌気性プロセス II	TS:栄養物除去 II	
Room12 610		WS:SDGs:ベンチマーキングとビジネスを越えて	WS:水情報の価値:グローバルデータ枯渇の克服	TS:水政策と管理、SDGsを含む制度的取り決め	
Room13 国際会議場		ML:都市水インフラの水と自然由来の解決策の融合	ジャパンビジネスフォーラム-巨大都市における水管理 I. II-		
Room14 701/702		TS:浄水場の再生・更新	TS:下水処理場の再生・更新	TS:ICT戦略を用いたアセットマネジメントと公共政策の告知	
Room15 703		TS:水管理:化学製品と医薬品	TS:異常事態への準備	TS:災害への備え	
Room16 801		SS:政策シャレット:挑戦する若手リーダーによる未来の水政策の考案 I. II		SS:ウォーターリーダーズによるパネルディスカッション	
Room17 802		TR:低中所得国における無収水の評価と管理			

TS = テクニカルセッション WS = ワークショップ FR = フォーラム SS = ソフトスキル TR = トレーニングセッション ML = マスターレクチャー

セッションの トラック分類	トラック1 水道事業経営	トラック4 都市の水システム
	トラック2 下水	トラック5 コミュニケーション、総合的計画、実現可能な環境
	トラック3 飲料水と飲料水再利用	トラック6 大規模な水管理

9月20日（木曜日）

	Keynote4 9:00-9:45	Session1 10:30-12:00	Session2 13:30-15:00
Room1 レセプション ホールA		TS:消毒生成物	TS:新興汚染物質
Room2 レセプション ホールB		TS:膜バイオリアクター	TS:廃水管理への膜利用
Room3 101		FR:新興国水リーダーズフォーラム	
Room4 102		WS:水のデジタル化-傾向と機会-	WS:注目される水のデジタルトピックス:サイバーセキュリティ、労働力連携、ビジネス4.0
Room5 601		TS:物理化学的処理-ナノ物質-	TS:ナノテクノロジー-ナノ物質の利用
Room6 604		TS:統合的水資源計画	
Room7 605		FR:集水域と広域連携フォーラムI-都市的視点-	FR:集水域と広域連携フォーラムII-実行へのツール-
Room8 606		TS:レジリエンス	TS:水ストレス-干ばつと洪水-
Room9 607	基調講演4 国際会議場	WS:水の味と臭気化合物、藻類毒素:異常気象時代における管理戦略と都市の成長I	WS:水の味と臭気化合物、藻類毒素:異常気象時代における管理戦略と都市の成長II
Room10 608		TS:下水処理場とエネルギーの最適化I	TS:下水処理場とエネルギーの最適化II
Room11 609		TS:新興汚濁物質と微量汚染物質の一般的側面	WS:公民パートナーシップ導入による効率的な水供給マネジメント
Room12 610		WS:再利用、再生、リサイクル-加速する水資源回収パートI、II-	WS:再利用、再生、リサイクル-加速する水資源回収III-
Room13 国際会議場		ML:飲用水再利用の近年の動向	WS:政策立案を支援する-水・環境の政策決定をどのように実現するか-
Room14 701/702		WS:バイオクラスター:微生物群のリアルタイム解析-私たちはどれだけ近づけているか?	
Room15 703		TS:地震の経験	TS:突発事故と緊急事態への対応
Room16 801		SS:オープンアクセスと出版のイノベーション	
Room17 802		TR:ISO5500xを踏まえたインフラセットマネジメント	

TS = テクニカルセッション WS = ワークショップ FR = フォーラム
SS = ソフトスキル TR = トレーニングセッション ML = マスターレクチャー

セッションのトラック分類
トラック1 水道事業経営
トラック2 下水
トラック3 飲料水と飲料水再利用
トラック4 都市の水システム
トラック5 コミュニケーション、総合的計画、実現可能な環境
トラック6 大規模な水管理

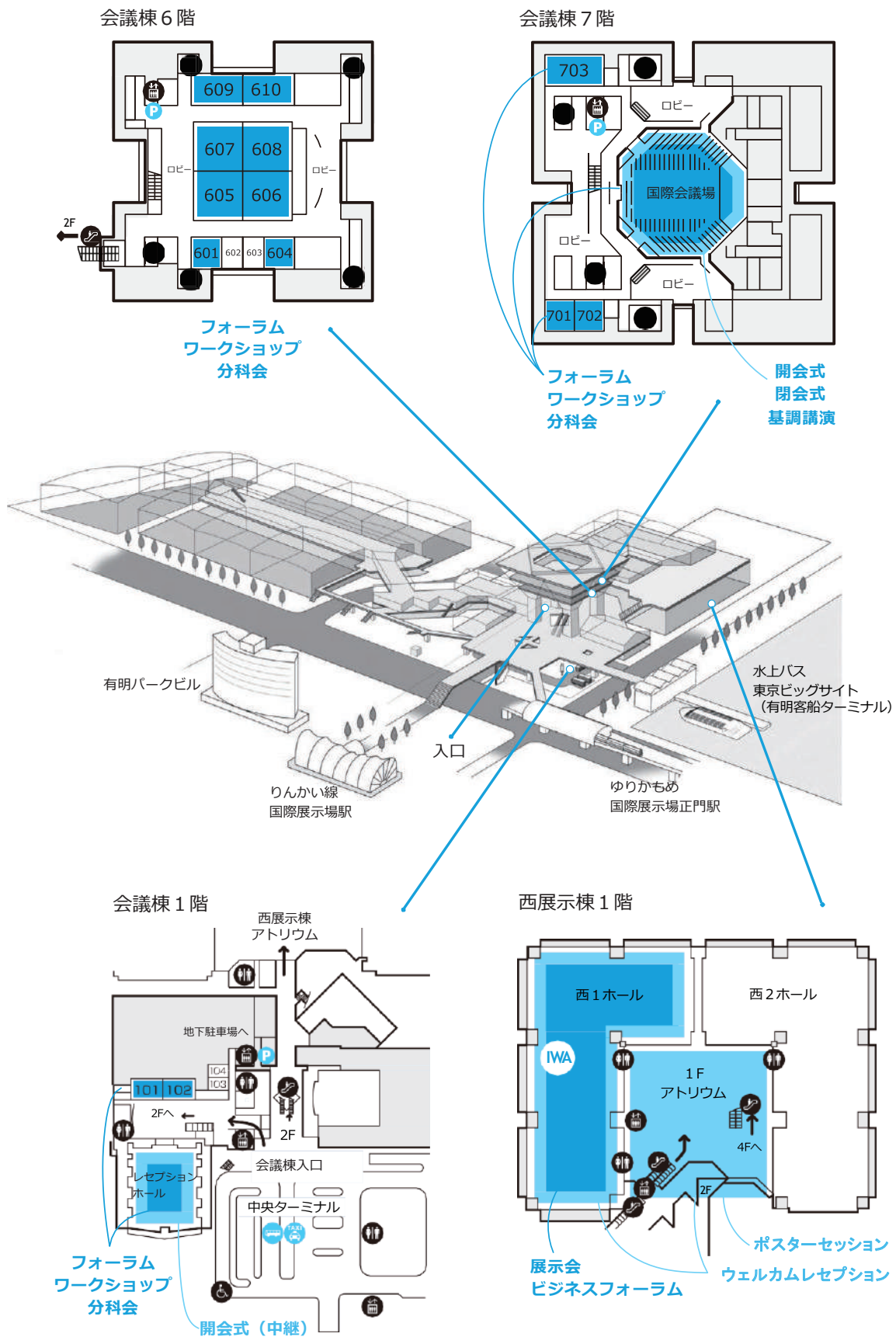
閉会式

15:15-16:45 国際会議場

ライブニング

19:00-22:00 ホテル グランドニッコー東京 台場

2) フロアレイアウト



3) 論文発表等のテーマ

フォーラムや論文発表は、そのテーマごとに6つのトラックに分けられている。

Track 1 : Water Utility Management 水道事業経営

上下水道経営は都市や国の重要な基盤である。多くのステークホルダーが規模の大小にかかわらず効果的に協働することが、画期的で意欲的な上下水道事業を形作る重要な要素である。人的資源と物的資源を効率的に活用しながら、短期的・長期的な変化への対応や将来の革新的なチャレンジのために、水道事業はその運営と管理をどのように最適化できるのか。

Track 2 : Waste Water 下水

下水の管理と資源回収には、多くのチャレンジとチャンスにあふれている。それは、都市の下水や産業排水の管理、飲料水以外への水の再利用、そしてエネルギーや有機物、化学物質などの回収である。将来にわたり持続可能な循環型の水管理を提供する上で、大規模から小規模な施設に至る様々な下水処理技術は、今後どのような役割を果たすのか。

Track 3 : Drinking Water and Potable Reuse 飲料水と飲料水再利用

ナノ粒子、医薬品、抗生物質耐性菌など新たな汚染物質の増加は、安全で高品質な飲料水を確保するという世界的な目標を脅かしている。細菌の発生、暴風雨の影響、危機管理上の事故といった潜在的な災害、また給水システムに関わる懸念（消毒による副産物、鉛、病原菌）に対し、私たちは科学やエンジニアリングにおける研究から実用化へと、その方向性を変える必要がある。社会的な水需要の増加に対応し、大都市の水供給を確保するために、どうすれば飲料水の再利用をソリューションのひとつにできるのか。

Track 4 : Urban Water Systems 都市の水システム

都市の上下水道システムを最適化するソリューションには、都市環境における飲料水・下水処理サービスと下水インフラの戦略的プランニング、運営、設計、メンテナンスが含まれる。都市の上下水道システムは強靱で生産的かつ持続可能なソリューションをどのように提供すれば、水に関する経験豊かで住みやすい都市を実現できるのか。

Track 5 : Communicates, Integrated Planning and The Enabling Environment コミュニケーション、統合的計画、実現可能な環境

水に関する経験豊かな都市の実現には、様々な分野の主要なステークホルダーと専門家が数多く必要となる。ここでは、地方（都市）政府、上下水道事業者、プランナー、専門家グループコミュニティ、民間パートナーが、最大の効果を発揮して都市にとって素晴らしい成果を挙げるためには、どのような協働が可能なのかを検討する。

Track 6 : Large Scale Water Management 大規模な水管理

都市と水道事業者が将来の世代に対して、強靱で適正な価格のサービスを長期的に提供するためには、流域をまたがって、あるいは国の内外にかかわらず、お互いに協力する関係を築き、計画し管理する能力を身につけることが重要である。流域規模で水を管理することにより、都市と水道事業者は広大な自然界のシステムに依存している上下水道サービスの持続可能性をどのように確保できるのか。

4) 基調講演

9月17日から20日にかけて行われた基調講演は、朝9時からと夕方17時30分からの2部に分けられ（20日は朝のみ）、登壇した有識者からは示唆に富んだ講義が語られた。

スピーカー	講演テーマ	日程
小池 俊雄 ユネスコ後援機関 水災害・リスクマネジメント 国際センター (ICHARM) センター長	リスクの同定、削減、管理の各分野における最近の動向	17日 朝
小池 百合子 東京都知事	持続可能な水循環都市の構築に向けて	
シルバー・ムギシャ ウガンダ上下水道公社CEO	低・中所得国における社会経済的な側面からの設備促進にあたっての制度的な課題	17日 夕
クラウディア・サドフ 国際水管理研究所所長	持続可能な開発目標6の現状と今後の展望	18日 朝
大垣 眞一郎 公益財団法人 水道技術研究センター理事長	不確実性に満ちた時代における意志決定のあり方ー我々が直面している課題は何か	18日 夕
スディール・マーシー 米国ニューハブ社CEO マーク・バン・ルースドレヒト オランダ・デルフト工科大学環境工学主任教授	イノベーションの普及は大きな課題	19日 朝
レベッカ・エガース グローバル・ウォーター・リーダー IBM	水分野のデジタル化	19日 夕
ラース・トルキドセン デンマーク HOFOR社CEO	多目的ユーティリティーの選択と機会	20日 朝

5) フォーラム

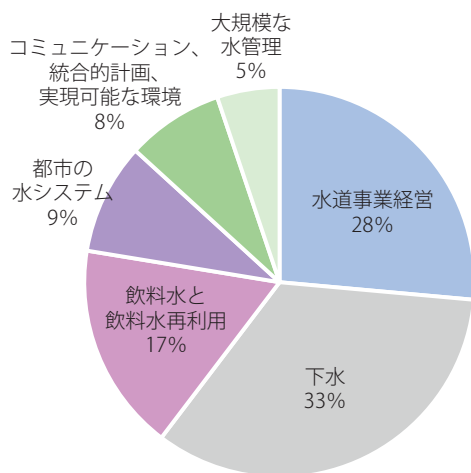
フォーラムは、大規模のものから小規模のものまで多彩な論点で世界の水関係者による議論が行われた。中でも、17日のフォーラムでは日本が東日本大震災などの災害から学んだレジリエンスの取組に大きな注目が集まり、都市の水事業が直面する危機管理分野の問題が話し合われた。

タイトル	日程
フォーラム	
レジリエントな都市にむけた災害及び危機管理対策	17日
第5回国際水レギュレーターズフォーラム	18日
科学から実践へ	19日
集水域と広域連携	20日
新興水リーダーズフォーラム	20日
事業者リーダーズサミット	20日
ジャパンビジネスフォーラム	
巨大都市における水管理	19日

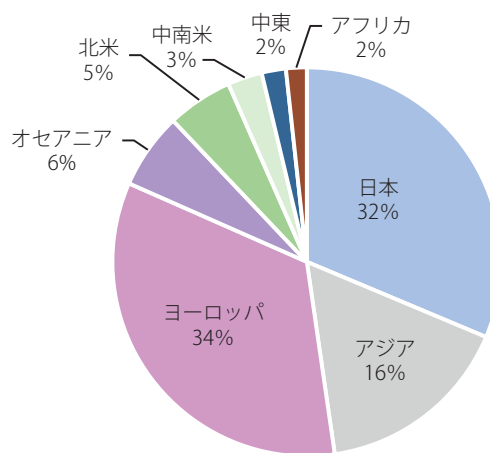
6) テクニカルセッション

テクニカルセッション（口頭発表）は352編あり、トラック別では下水が33%と最も多く、次に水道事業経営の28%が続いた。飲料水と飲料水再利用も、近年の各国での取り組み増加を反映して17%。以下、都市の水システム9%、コミュニケーション、統合的計画、実現可能な環境8%、大規模な水管理5%となった。

また、地域別では、開催国である日本からの発表がもっとも多く32%となり、日本を除いたアジア地域が16%。次期開催国のデンマークから多くの参加があったヨーロッパ地域から34%。以下、オセアニア6%、北米5%、中南米3%、中東2%、アフリカ2%となった。



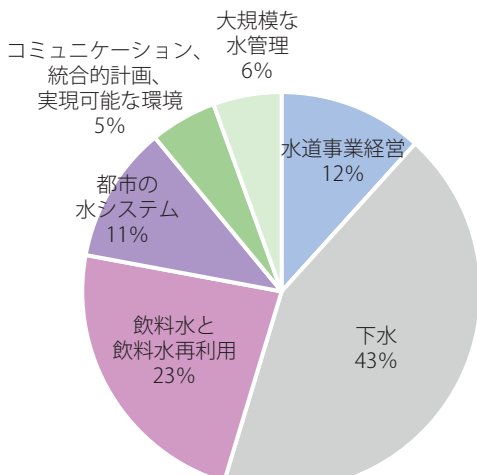
〔口頭発表トラック別内訳〕



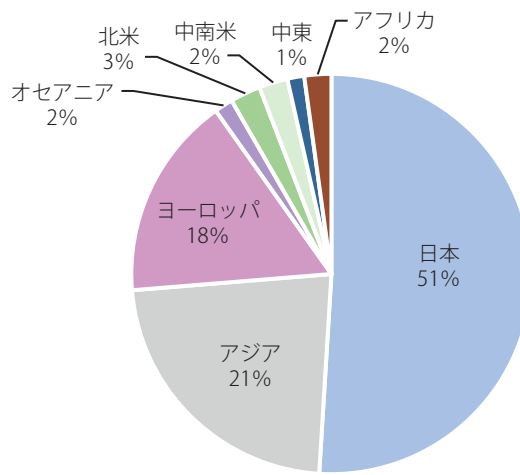
〔口頭発表地域別内訳〕

7) ポスターセッション

ポスターによる論文発表は、633編あり、地域別ではアジアの72%を筆頭に、ヨーロッパ18%、北米3%、中南米2%、アフリカ2%、オセアニア2%、中東1%となった。ポスター発表者にも5分間の口頭発表の機会が与えられた。トラック別では、下水43%、飲料水と飲料水再利用23%が多く、次に水道事業経営の12%、都市の水システム11%が続いた。以下、大規模な水管理6%、コミュニケーション、統合的計画、実現可能な環境5%となった。



〔ポスター発表トラック別内訳〕

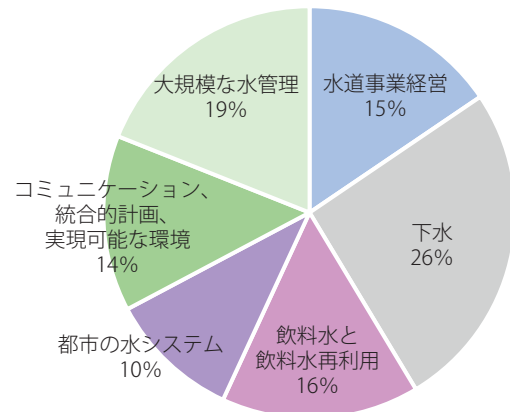


〔ポスター発表地域別内訳〕

※総数はIWA発表、内訳はプログラムブックに基づき作成

8) ワークショップ

論文発表とは別に開催される提案型のワークショップでは、ポストSDGsや気候変動への対応などスケールの大きい話題からマイクロプラスチック問題のような私たちの消費生活に結びつく問題まで、幅広い提案が示され、議論が展開された。トラック別では下水と大規模な水管理がやや多かったが、全体としてトラックそれぞれのテーマに沿った問題が取り上げられている。



〔ワークショップトラック別内訳〕

※内訳はプログラムブックに基づき作成

9) トレーニング、ソフトスキル、マスターレクチャー

今回の世界会議において最も特徴的だったのが、トレーニングをはじめとする次世代の若手育成や連携強化などのプログラムの多さである。トレーニングでは実務的な問題への対処方法や考え方を、ソフトスキルでは若手の連携とそのためのツールについて、マスターレクチャーでは各分野の専門家から問題の本質やその動向について学んだ。

タイトル	日程
トレーニング	
水エネルギーネクサスにおける規制的卓越性の実行	17日
都市水道サービスの性能の評価と改善：IWAアプローチ	18日
気候スマート事業体- 適応	18日
低中所得国における無収水の評価と管理	19日
ISO 5500xを踏まえたインフラアセットマネジメント	20日
ソフトスキル	
複雑な水問題の解決—ツールキット	17日
出版スタイルの著者用スキル向上	17日
虚偽報道の時代における水コミュニケーション	18日
政策シャレット：挑戦する若手リーダーによる未来の水政策の考案	19日
ウォーターリーダーズによるパネルディスカッション	19日
オープンアクセスと出版のイノベーション	20日
マスターレクチャー	
リン回収と下水からの再利用	18日
都市水インフラの水と自然由来の解決策の融合	19日
飲用水再利用の近年の動向	20日

4. 展示会

1) スケジュール

日程	開会時間
9月16日(日曜日)	18:30 - 20:00
9月17日(月曜日)	9:00 - 18:00
9月18日(火曜日)	9:00 - 18:00
9月19日(水曜日)	9:00 - 18:00
9月20日(木曜日)	9:00 - 15:00

2) ビジネスフォーラムの開催スケジュール

9月17日(月曜日)

Room1		Room2	
時間	発表者	時間	発表者
9:45-10:30	メタウォーター株式会社	9:45-10:30	株式会社日立製作所 愛知時計電機株式会社
10:30-11:15	大成機工株式会社	10:30-11:15	Veolia
11:15-12:00	水ing株式会社	-	-
12:15-13:00	コスモ工機株式会社	12:00-13:30	デンマークパビリオン
13:30-14:15	株式会社クボタ	13:30-14:30	IWA-ISLE最先端技術プログラム
14:15-15:00	株式会社日立製作所	14:30-15:30	IWA-ISLE最先端技術プログラム
15:45-16:30	東京都水道局 東京都下水道局	15:45-16:30	株式会社明電舎
16:30-17:15	公益社団法人日本水道協会 コスモ工機株式会社	16:30-17:15	アフリカパビリオン

9月18日(火曜日)

Room1		Room2	
時間	発表者	時間	発表者
9:45-10:30	メタウォーター株式会社	9:45-10:30	横浜市
10:30-11:15	株式会社クボタ	10:30-11:15	Xylem Inc.
11:15-12:00	株式会社栗本鐵工所	11:15-12:00	JFEエンジニアリング株式会社
12:15-13:00	水ing株式会社	12:00-13:30	Confederation of Danish Industry
13:30-14:15	コスモ工機株式会社	13:30-14:15	IWA-ISLE最先端技術プログラム
14:15-15:00	株式会社明電舎	14:15-15:00	IWA-ISLE最先端技術プログラム
15:45-16:30	株式会社日水コン フジテコム株式会社	15:45-16:30	オランダパビリオン
16:30-17:15	株式会社ナガオカ	16:30-17:15	Nukote Coating Systems

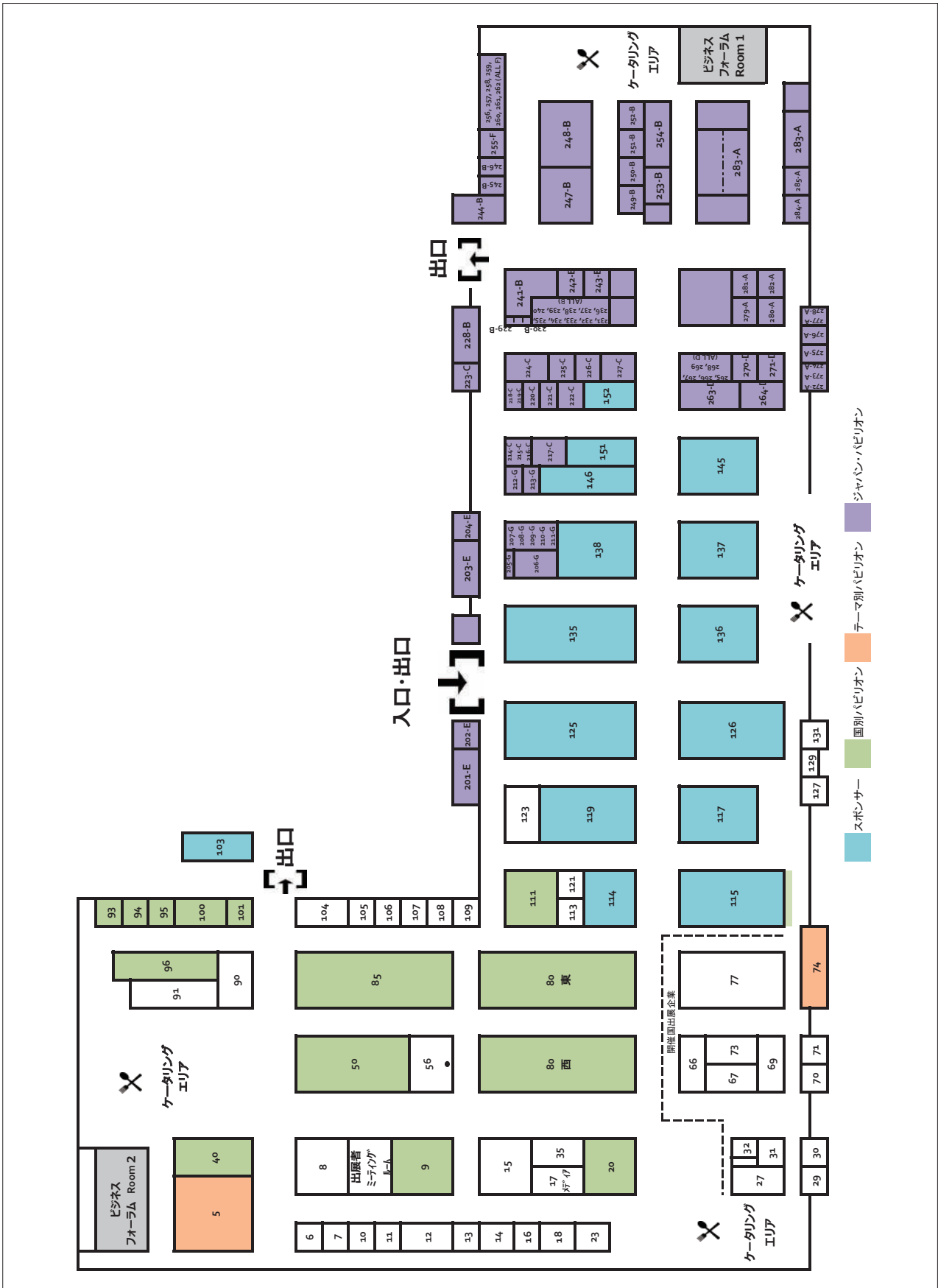
9月19日(水曜日)

Room1		Room2	
時間	発表者	時間	発表者
9:45-10:30	メタウォーター株式会社	9:45-10:30	株式会社クボタ
10:30-11:15	株式会社NJS 管清工業株式会社	10:30-11:15	Phoslock Water Solutions Ltd.
11:15-12:00	株式会社日立製作所	11:15-12:00	水ing株式会社
12:15-13:00	日本原料株式会社	12:00-13:00	Confederation of Danish Industry
13:30-14:15	Cambi Group AS	13:30-14:45	SWAN Forum Program
14:15-15:00	月島機械株式会社 公益社団法人日本水道協会	14:45-15:00	IWA-ISLE最先端技術プログラム
15:45-16:30	AquaFlanders	15:45-16:30	カナダパビリオン
16:30-17:15	Xylem Inc.	16:30-17:15	アフリカパビリオン

9月20日(木曜日)

Room1		Room2	
時間	発表者	時間	発表者
9:45-10:30	メタウォーター株式会社	9:45-10:30	AquaFlanders
10:30-11:15	Blue Foot Membranes	10:30-11:15	横河電機株式会社
11:15-12:00	日立造船株式会社	11:15-12:00	大成機工株式会社 配水用ポリエチレンパイプシステム協会
12:15-13:00	大成機工株式会社	-	-
13:30-14:15	住友電気工業株式会社 東レ株式会社	13:30-14:15	SYSTEA SpA
-	-	14:15-15:00	東京水道サービス株式会社

3) フロアレイアウト



4) 出展者一覧

No	出展者	国
5	Anglian Water	GB
5	Aquafortus Technologies Ltd.	NZ
5	Aqualia	ES
5	Blue Foot Membranes	BE
5	Carex of Sweden AB	SE
5	Hydro-Dis	AU
5/50	Hydroko	BE
5	Isle Utilities	NL
5	LG Sonic	NL
5	LuminUltra Technologies	CA
5	PowerTech Water	US
5	PureTerra Ventures	CN
5	Rematec リマテック株式会社	JP
5	SWAN Forum	GB
5	SYSTEAS.p.A.	IT
5	Terraheim	KR
6	AQUAS INC.	TW
7	KAUST Water Desalination and Reuse Centre	SA
8	IWA-ASPIRE 2019 Hong Kong	HK
9	Aquatech Global Events	NL
9	European Benchmarking Co-operation	NL
9	MTD	NL
9	Netherlands Pavilion	NL
9	Netherlands Water Partnership	NL
9	Nijhuis Industries	NL
9	Pentair – X-flow	NL
9	Springer Nature	NL
10	Ontoto	AU
11	Phoslock Water Solutions	AU
12	Wizit Energy	KR
13	Bioprocess Control	SE
14	GLS Tanks International	AT
15	Watershare	NL

No	出展者	国
16	Whirl-Pak / Nasco Sampling	US
17	Asian Water	MY
17	EverythingAboutWater	IN
17	Express Water	IN
17	Trenchless International	AU
17	Water & Wastewater Asia	SG
17	Water Solutions	DE
17	Watergas.it	IT
18	Global Water Inteligence	GB
20	Acevision (Beijing) Exhibition	CN
20	Aquafitting Co., Ltd.	CN
20	AURORA Group	CN
20	Beijing Tidelson S&I Rainwater Harvesting Technology Co.Ltd.	CN
20	China Pavilion	CN
23	OBOR Environmental Technology and Industry Alliance	CN
27	DK-Power 株式会社 DK-Power	JP
29	Delairco Japan KK デレーコ・ジャパン株式会社	JP
30	DKK-TOA CORPORATION 東亜ディーケーケー株式会社	JP
31	Fracta	US
31	Kurita Water Industries 栗田工業株式会社	JP
32	AMCON INC アムコン株式会社	JP
35	EPAL	PT
40	Canada Pavilion	CA
40	Canadian Association on Water Quality	CA
40	Canadian Water and Wastewater Association	CA
40	Canadian Water Network	CA
40	Carleton University – Global Water Institute	CA

No	出展者	国
40	CentrEAU – Université Laval	CA
40	Heron Instruments	CA
40	Hydromantis	CA
40	INRS Université de Recherche	CA
40	International Centre of Regulatory Excellence - ICORE	CA
40	Pentough Corporation ペンタフ株式会社	JP
40	Polytechnique Montreal	CA
40	University of British Columbia	CA
50	AquaFlanders	BE
50	Belgium Pavilion	BE
50	De Watergroep	BE
50	Ekopak	BE
50	Flanders Investment and Trade – FIT	BE
50	Flanders Knowledge Center Water – VLAKWA	BE
50	Vito	BE
56	CAMBI Group AS	NO
66	BASF	DE
66	Mitsubishi Chemical Aqua Solutions 三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社	JP
67	Sasakura Engineering Co., Ltd. 株式会社ササクラ	JP
69	KURODITE Corporation 株式会社クロダイト	JP
70	Ichigo Holdings Co., Ltd. 株式会社いちごホールディングス	JP
71	EMORI Infotech 株式会社江守情報	JP
73 235-B	Yokogawa Solution Service Corporation 横浜ソリューションサービス株式会社	JP
74	Arcadis	US

No	出展者	国
74	ARUP	BG
74	CRC for Water Sensitive Cities	AU
74	IWA Water-Wise Cities Pavilion	NL
74	SIAAP	FR
77	Veolia	FR
80	3Vand	DE
80	AquaGlobe	DE
80	AVK Holding A/S	DE
80	Coast to Coast Climate Challenge	DE
80	Confederation of Danish Industry	DE
80	Danish Water Forum	DE
80	Danish Water Technology Group	DE
80	DANVA	DE
80E	Denmark Pavilion	DE
80	DHI Group	DE
80	Dryp	DE
80	Grundfos A/S	DE
80	Informetics ApS	DE
80	Kamstrup A/S	DE
80	Klimaspring	DE
80W	Nordic Pavilion	
80	Ramboll A/S	DE
80	Scalgo ApS	DE
80	Skanderborg Forsyningsvirksomhed A/S	DE
80	Smith Innovation	DE
80	State of Green	DE
80	The Danish Society for Wastewater Technology	DE
80	VCS Denmark	DE
80	Wonderful Copenhagen Convention Bureau	DE
85	Africa Pavilion	
85	African Water Association	CI
85	EPAL-EP	AO
85	L'Office National de l'Electricité et de l'Eau Potable - ONEE	MA

No	出展者	国
85	Lilongwe Water Board	MW
85	National Water and Sewerage Corporati Corporatori	UG
85	Senegalaise des Eaux	SN
85	SODECI	CI
90	Hermann Sewerin GmbH	DE
91	Nukote Coating Systems	US
93	Energy Management System Co., Ltd.	TW
94	ShinNan Casting Factory	TW
95	Ketech Scientific Instrument Co., Ltd.	TW
96	AnCAD Inc.	TW
96	TWEA	TW
100	Ming Kuan Machinery MFG. Ent. Co., Ltd.	TW
101	SK Valves Co., Ltd.	TW
103/5	SUEZ	FR
104	CAWARE FILTERING CORPORATION	TW
105	MDP	CH
106	Estruagua	ES
107	Dynamita SARL	FR
108	Filtteck	TW
109	Parkson Corporation	US
111	Australia Pavilion	AU
111	Australian Water Partnership	AU
113	eGloo Technologies	AU
113	tekReader Pty Limited	AU
114	XYLEM Inc.	US
115	International Water Association	
115	The Source	GB
117	Hitachi Zosen Corporation 日立造船株式会社	JP
119	COSMO KOKI CO., LTD	JP
217-C	コスモ工機株式会社	JP
121	De Nora Permelec Ltd.	IT

No	出展者	国
123	Ecologix Technologies Asia Pacific	TW
125	Kubota Corporation	JP
206-G	株式会社クボタ	JP
126	MEIDENSHA CORPORATION	JP
236-B	株式会社明電舎	JP
127	TOMCO2 Systems	US
129	NIKKISO GIKEN 日機装技研株式会社	JP
131	Hach Ultra 株式会社ハック・ウルトラ	JP
135	Hitachi, Ltd. 株式会社日立製作所	JP
242-B	Hitachi, Ltd. 株式会社日立製作所	JP
136	Swing Corporation 水 ing 株式会社	JP
137	METAWATER Co., Ltd. メタウォーター株式会社	JP
243-B	METAWATER Co., Ltd. メタウォーター株式会社	JP
138	Taisei Kiko Co., Ltd. 大成機工株式会社	JP
224-C	Taisei Kiko Co., Ltd. 大成機工株式会社	JP
145	JFE Engineering Corporation JFE エンジニアリング株式会社	JP
246-B	JFE Engineering Corporation JFE エンジニアリング株式会社	JP
146	Morimatsu Industry Co., Ltd. 森松工業株式会社	JP
151	KANSEI Company 管清工業株式会社	JP
269-D	KANSEI Company 管清工業株式会社	JP
152	Kurimoto, Ltd. 株式会社栗本鐵工所	JP
222-C	Kurimoto, Ltd. 株式会社栗本鐵工所	JP
	Japan Pavilion	JP
201-E	Japan Water Purifier Association 一般社団法人浄水器協会	JP
202-E	Azbil Kimmon Co., Ltd. アズビル金門株式会社	JP
	Japan Valve Manufacturers' Association 一般社団法人日本バルブ工業会	JP
203-E	Japan Valve Manufacturers' Association 一般社団法人日本バルブ工業会	JP
204-E	Aichi Tokei Denki Co.,Ltd. 愛知時計電機株式会社	JP
205-G	KIMURA TECHNICAL Co., Ltd. 株式会社木村工業	JP

No	出展者	国
207-G	ABE NIKKO KOGYO CO., LTD. 株式会社安部日鋼工業	JP
208-G	Newspaper of Waterworks Industry 株式会社水道産業新聞社	JP
209-G	NEC Corporation 日本電気株式会社	JP
210-G	Kawasaki Heavy Industries, Ltd. 川崎重工業株式会社	JP
211-G	SUMITOMO CORPORATION 住友商事株式会社	JP
212-G	DEK Co.,LTD 株式会社デック	JP
213-G	Japan Waterworks Newspaper Company 株式会社日本水道新聞社	JP
214-C	SHIMIZU ALLOY MFG CO LTD 株式会社清水合金製作所	JP
215-C	Showarasekan Seisakusho Co.,Ltd. 株式会社昭和螺旋管製作所	JP
216-C	SUIKEN CO., LTD. 株式会社水研	JP
218-C	Japan Water Steel Pipe Association 日本水道鋼管協会	JP
219-C	POLITEC 配水用ポリエチレンパイプシステム協会	JP
220-C	SK-KAWANISHI CO., LTD. 株式会社川西水道機器	JP
221-C	MORITA IRON WORKS CO.,LTD. 株式会社森田鉄工所	JP
223-C	MESCO,Inc. 三井金属エンジニアリング株式会社	JP
225-C	VICTAULIC OF JAPAN LIMITED 日本ヴィクトリック株式会社	JP

No	出展者	国
226-C	NIPPON CHUTETSUKAN K.K. 日本鑄鉄管株式会社	JP
227-C	HINODE, Ltd. 日之出水道機器株式会社	JP
228-B	TOKYO KEIKI INC. 東京計器株式会社	JP
229-B	Sumitomo Electric Industries, Ltd. 住友電気工業株式会社	JP
230-B	Toray Industries, Inc. 東レ株式会社	JP
231-B	KOBELCO ECO-SOLUTIONS CO., LTD. 株式会社神鋼環境ソリューション	JP
232-B	DAIICHI TECHNO CO., LTD. 株式会社第一テクノ	JP
233-B	DMW CORPORATION 株式会社電業社機械製作所	JP
234-B	FUSO Corporation 株式会社フソウ	JP
235-B	NISHIKAWA KEISOKU CO., Ltd. 西川計測株式会社	JP
237-B	SANKI ENGINEERING CO., LTD. 三機工業株式会社	JP
238-B	SUIDO KIKO KAISHA, LTD. 水道機工株式会社	JP
239-B	TOSHIBA INFRASTRUCTURE SYSTEMS & SOLUTIONS CORPORATION 東芝インフラシステムズ株式会社	JP
240-B	Mitsubishi Electric Corporation 三菱電機株式会社	JP
241-B	ANZAIKANTETSU,Co,Ltd 株式会社安斉管鉄	JP
241-B	G8 International Trading Co.,Ltd. G-8 INTERNATIONAL TRADING 株式会社	JP

No	出展者	国
241-B	Kyowa Kako Co., Ltd. 共和化工株式会社	JP
244-B	Johkasou System Association 一般社団法人浄化槽システム協会	JP
245-B	ORGANO CORPORATION オルガノ株式会社	JP
247-B	NAGAOKA INTERNATIONAL CORPORATION 株式会社ナガオカ	JP
248-B	NIHON GENRYO Co., Ltd. 日本原料株式会社	JP
249-B	EBARA JITSUGYO CO.,LTD. 荏原実業株式会社	JP
250-B	Daicel Corporation 株式会社ダイセル	JP
251-B	FUJIWARA INDUSTRY CO., LTD. フジワラ産業株式会社	JP
252-B	HORIBA Advanced Techno, Co., Ltd. 株式会社堀場アドバンスドテクノ	JP
253-B	Maezawa Industries, Inc. 前澤工業株式会社	JP
254-B	TSUKISHIMA KIKAI CO., LTD. 月島機械株式会社	JP
255-F	NJS CO.,LTD 株式会社 NJS	JP
256-F	NIHON SUIKO SEKKEI Co., Ltd. 日本水工設計株式会社	JP
257-F	ORIGINAL ENGINEERING CONSULTANTS CO., LTD. オリジナル設計株式会社	JP
258-F	NIPPON KOEI CO., LTD. 日本工営株式会社	JP

No	出展者	国
259-F	TEC International Co., Ltd. – Tokyo Engineering Consultants Co., Ltd. 株式会社東京設計事務所/株式会社 TEC インターナショナル	JP
260-F	Nihon Suido Consultants Co., Ltd. 株式会社日水コン	JP
261-F	PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD. パシフィックコンサルタンツ株式 会社	JP
262-F	CHUOU SEKKEI ENGINEERS CO.,LTD. 株式会社中央設計技術研究所	JP
263-D	FUJITECOM.INC フジテコム株式会社	JP
264-D	GOODMAN INC. 株式会社グッドマン	JP
264-D	Gutermann	CH
265-D	Tokyo Gas Engineering Solutions Corporation 東京ガスエンジニアリングソリュー ーションズ株式会社	JP
266-D	DK Corporation 第一環境株式会社	JP
267-D	Aqueduct Mapping System CO., LTD. 水道マッピングシステム株式会社	JP
268-D	PASCO CORPORATION 株式会社パスコ	JP
270-D	TOMISU Co., Ltd. 株式会社トミス	JP
271-D	Japan Water Endoscope Camera Association 一般社団法人全国水道管内カメラ 調査協会	JP

No	出展者	国
272-A	Federation of Japan Water Industries Inc. 一般社団法人日本水道工業団体連合会	JP
273-A	Japan Water Research Center 公益財団法人水道技術研究センター	JP
274-A	Chiba Prefectural Waterworks Bureau 千葉県水道局	JP
275-A	IBARAKI Prefectural Government Public Enterprise Bureau 茨城県企業局	JP
276-A	City of Yokohama 横浜市水道局	JP
277-A	Ministry of Health, Labour and Welfare 厚生労働省	JP
278-A	Japan Water Works Association 公益社団法人日本水道協会	JP
279-A	KITAKYUSHU OVERSEAS WATER BUSINESS ASSOCIATION 北九州市海外水ビジネス推進協議会	JP
280-A	Waterworks Bureau, City of Kawasaki 川崎市上下水道局	JP
281-A	Japan Institute of Wastewater Engineering and Technology – JIWET 公益財団法人日本下水道新技術機構 (JIWET)	JP
282-A	HARP - Hamamatsu Artful Technology Platform for Enriching Water and Daily Life 水と暮らしを豊かにする浜松技術プラットフォーム (HARP♪)	JP

No	出展者	国
283-A	Bureau of Sewerage Tokyo Metropolitan Government 東京都下水道局	JP
283-A	Bureau of Waterworks Tokyo Metropolitan Government 東京都水道局	JP
283-A	PUC Co.,Ltd. 株式会社 PUC	JP
283-A	Tokyo Metropolitan Government 東京都	JP
283-A	TOKYO METROPOLITAN SEWERAGE SERVICE CORPORATION 東京都下水道サービス株式会社	JP
283-A	TSS Tokyo Water Co., Ltd. 東京水道サービス株式会社	JP
284-A	New Energy and Industrial Technology Development Organization – NEDO 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)	JP
285-A	Japan International Cooperation Agency – JICA 独立行政法人国際協力機構 (JICA)	JP

5) スポンサー一覧

■ プリンシパルスポンサー

株式会社 クボタ

■ プラチナスポンサー

コスモ工機 株式会社
水ing 株式会社
大成機工 株式会社

株式会社 日立製作所
株式会社 明電舎

■ ゴールドスポンサー

管清工業 株式会社
株式会社 栗本鐵工所
JFEエンジニアリング 株式会社
日立造船 株式会社
森松工業 株式会社

Poten
Suez
Xylem

■ ウェルカムレセプション

メタウォーター 株式会社

■ モバイルApp スポンサー

水ing 株式会社